



**施設見学研修「社会福祉法人 カナン」  
(平成 28 年 9 月 28 日、10 月 14 日)  
アンケート結果**

(回答者数 43 名、項目下の数字は回答者数を示す)

- あなたの性別と年齢をお書き下さい  
性別 ( ①男性 ②女性 )  
18 人 25 人  
年齢 ( ①40代 ②50代 ③60代 ④70代 ⑤80代 ⑥その他 )  
0 2 人 8 人 24 人 9 人 0
- あなたの家族状況は、次のどれに当てはまりますか?  
①ひとり暮らし ②夫婦 2 人暮らし ③2 世代家族 ④3 世代家族  
7 人 24 人 9 人 3 人
- 見学会に行こうとした動機は何ですか?  
①自分の将来の入居の為 ②施設に入りたい人の為 ③施設勉強の為  
13 人 3 人 37 人
- どのようなところを見学したかったですか? (複数回答可)  
①居室 ②食堂 ③風呂 ④リハビリ室 ⑤談話室 ⑥施設内外の雰囲気  
29 人 17 人 15 人 15 人 10 人 32 人  
⑦その他 ( スタッフの方々 )  
2 人
- どんなことを知りたかったですか? (複数回答可)  
①1 日の生活スケジュール ②介護サービス内容 ③介護体制 ④医療体制  
18 人 19 人 24 人 13 人  
⑤食事内容 ⑥プライバシーの確保 ⑦各介護サービスの条件や費用  
10 人 10 人 21 人



- 今不安に感じていることをお書き下さい。
  - 一人になって淋しい
  - 子供に迷惑をかけたくない
  - 体調をくずしたら
  - 認知症にならないか
  - いずれ福祉のお世話になるのか
  - 動けなくなったら・寝たきりになったら
  - 夫婦 2 人暮らしで、今後介護が必要になったら
  - 施設入居の条件や必要な金額 (特養か老人ホームか)
  - 自分が入れる施設があるのか
  - 子供が遠方なので、主人が亡くなって一人になった時
  - 健康で生きがいが持ち続けられるか
  - 今後特養入居希望者が増加するが、入居できるか
  - 娘が 3 人いるが、在宅介護が可能か
  - 貯金を取り崩し年金だけで、楽しい老後が送れるのか
  - 高齢者二人暮らしで、今後の老々介護が不安
- 今日見学した感想をお書き下さい。
  - 色々話を聞き近所に安心できる場があると少しほっとした
  - 施設で働く人の動きがいい
  - 入居者の感想はどうか
  - スタッフ教育 (虐待防止教育等) がしっかりしている
  - 充実された施設で、利用したいと思う
  - 行き届いた施設で、利用できれば安心だと心丈夫な思いです
  - 大変いい施設なので、今後増設してほしい
  - もう少し居室と入浴施設が見たかった
  - きれいで明るく、心配りがされていました
  - 特養入居は難しいと聞くが、新入居者も多いと聞き安心した
  - スペースがゆったりしているのがいい
  - ホテル並みの施設で、私もいずれ入りたい
  - 看護師も常駐し、医療体制もいいので安心感をもった
  - 食事内容も体調や病状に配慮し、素晴らしいと思った
  - 施設もスタッフの方々も従来のイメージとは違い感心した
  - 経営母体が医院ということで、安心です
  - 特養ということで暗いイメージでしたが、見直しました
  - 静かで落ち着いた雰囲気がよかった



**理事管外研修**

「川村義肢 (株)」に参加して  
(平成 29 年 2 月 24 日) A・N

今回、工場を始めて見学してみ  
て、今後の生活に役に立つ商品が  
多くあり、様々な知識を得ること  
が出来ました。私も高齢化の仲間  
に入っており、しかも足に障害を  
持っており補助装具は必要にな  
っています。  
特に興味があったのは腰痛・膝

痛の補助装具で、使用する人の身  
になって、病院との連携・体の寸  
法・動きを個々にデータ化して最  
適な装具を「手作り」で製作し、  
メンテナンスも行っていました。  
車椅子についても、2、3 種類  
しか利用経験がなく、個人が便利  
に利用できるように改造等を行  
っているため「種類は人の数だけ  
ある」ことを感じ吃驚しました。  
義手・義足・義眼についても時  
代と共に進歩しており、現在では

言わなければ見分けがつかない  
くらいになって「指紋がちがうだ  
け？」との意見も聞こえました。  
実際に亀・フラミンゴの補助装具  
にも挑戦して結果を出していま  
した。  
社長の言葉  
で「なんでも  
出来る。お客  
さんと考える」  
の精神にも感  
心しました。



**編集後記**

施設見学アンケート結果から、  
高齢者の不安は「年を重ね、体調  
をくずし、介護が必要になった時、  
安全安心に暮らしていけるか」で  
す。感想では「思いのほか施設の  
諸設備や対応に感心した」方が多  
くいました。確実に不安は現実にな  
ります。本紙が「終末期までの  
生活プラン」を考える一助になり  
「不安人生から明るい人生」への  
転機になればと願っています。